

コース番号:26-20-12-006-025

# 原価管理とコストダウン

受講料  
3,300円  
(税込)



実施日時

**6月12日(金)**  
9:30~16:30(6時間)

会場

**ポリテクセンター松本**  
(松本市寿北7-17-1)

対象者

管理者層

定員

**15名**  
(先着順。最少催行人数6名)

講師

株式会社テクノ経営総合研究所  
エキスパートコンサルタント  
**竹中 弘路 氏**

申込締切

5月20日(水)

講師から

単に決算書の解析ではなく、製造分野における様々なプロセスでの原価を計算し、ムダや非効率箇所の発見から生産性向上とコストダウンにつながるノウハウをお伝えします。

募集の詳細は当センターのWebホームページを検索してご覧ください。  
<https://www3.jeed.go.jp/matsumoto/poly/seisan-open.html>

ポリテク松本



※受講の申込方法は裏面をご覧ください。

【訓練に関するお問い合わせ】  
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部  
長野職業能力開発促進センター 松本訓練センター  
ポリテクセンター松本 生産性向上人材育成支援センター  
TEL 0263-58-3392 FAX 0263-58-5062

※お申し込み後の変更やキャンセルに関するお問い合わせは、裏面記載のポリテクセンター長野へご連絡願います。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers  
長野支部長野職業能力開発促進センター

【共催】諏訪商工会議所、岡谷商工会議所、下諏訪商工会議所、茅野商工会議所、松本商工会議所  
安曇野市商工会、塩尻商工会議所、大町商工会議所、松本ものづくり産業支援センター

【後援】NPO諏訪圏ものづくり推進機構、岡谷市/テクノプラザおかや、ものづくり支援センターしもすわ、  
茅野市精密工業連合会、茅野・産業振興プラザ、松本機械金属工業会、中信溶接協会、  
諏訪信用金庫、松本信用金庫

# コース名

# 原価管理とコストダウン

## コースのねらい

低コスト化と生産性向上を目指して、原価管理をコスト(費用削減)と生産性(業務効率向上)の2軸で捉え、企業収益向上のポイントを習得する。

	基本項目	主な内容	時間(H)
講義内容	1 原価管理とは	(1) 会計の基礎 決算書(BS/PL/キャッシュフロー)の見方・損益分岐点の考え方を理解し、利益拡大策と目標売上高の設定方法について解説する/決算分析指標に基づき企業の決算書分析を行い業績実態を比較する/収益構造・利益感度を分析し改善策の貢献度を解説する 演習:損益分岐点/企業決算分析を行う (2) 原価の基本 製造原価(材料費・加工費・経費)の計算方法を解説する/業界別原価構成比率/コスト変動要因解析と目標コスト設定・原価構造と方策を解説する/改善目標検討の進め方を理解する/原価見積の仕方とコストテーブル作成の進め方を解説する/材料費・加工費決定要素とコスト見積例を解説する 演習:製造原価を計算する (3) 損益分岐点 演習:原価計算の仕方を学ぶ/原価ポートフォリオ/原価ロス分析・原価低減ガイドラインによる改善方法の進め方を解説する/材料の歩留ロスの例/製造方式ロスの例を示す 演習:VEによる機能定義・表現を学ぶ	2.0
	2 コスト削減	(1) 製造コストダウンの進め方 加工費低減のアプローチ、直接作業時間・直接賃率(設備時間・設備賃率)の計算方法、生産性指標の定義と生産ロスの実態、阻害要因と改善方向・費用低減方法を理解し現場改善活動が経営成果につながることを学ぶ (2) 購買コストダウンの進め方 資材費低減のアプローチ、価格決定方法、対象選定・分析を理解し、コスト開発方針、購買価格が決まる要素、購買価格折衝(VA)の準備・戦略立案・折衝実践の進め方を解説する (3) 設計コストダウンの進め方 設計コスト低減のアプローチ、ミニマムコスト開発・設計方法を理解し、設計規準・コスト開発方針設定、製品仕様項目MW分析や機会損失項目視点からのコスト開発テーマの発掘・テーマ化・コストダウンの進め方を解説する/コストダウン企業事例を紹介する	2.0
	3 IE手法による標準時間設定方法	(1) IEの基本 IEの2つの柱、方法改善と測定技術について基本的な考え方と改善への活用を解説する特に時間分析、ワークサンプリング、マンマシン分析のやり方と改善の進め方を解説する (2) 標準時間の設定方法 標準時間の目的及び構成、設定手法(直接時間分析、PTS法)について解説する 標準時間の基本的設定手順、余裕率の設定、観測精度、時間モデル等について解説する (3) 標準時間資料作成と活用 標準時間資料作成手順と生産性管理の活用方法を解説する 工数管理の必要性とパフォーマンス改善について解説する	2.0

## 受講申込の手順

※令和8年度より、FAXでの申込は受け付けておりません

ポリテク松本のホームページから、「生産性向上支援訓練受講申込書」をダウンロードしてください。

必要事項を記入し、申込締切日までにポリテク長野宛て(下記送信先)電子メールで送付してください。

申込書がポリテク長野に到着後、申込担当者様に受講料支払い手続き等についてご連絡いたしますので、指示に従ってください。

受講申込書送信先 : [nagano-seisan@jeed.go.jp](mailto:nagano-seisan@jeed.go.jp)

### 会場案内

ポリテクセンター松本  
(松本市寿北7-17-1)

車でお越しの方は会場の  
駐車場(無料)を  
ご利用ください。

